

対馬市島おこし実践塾 2018

-入門編-

塾生募集要項

対馬から本当の豊かさや持続可能な暮らし方を考える！
熱意ある人の参加を待っています！

- 地域おこしの現場を学びたい！ふるさとのために、何か力になりたい！そんな思いに応えます
- 森、里、海、三拍子そろった島の自然を上手に活かしてきた対馬の人々。その暮らしの智恵や技能は、これからの地域づくりを考えるヒントを与えてくれるはず
- 農林漁業者さんとともに作業し、対話をする中で、対馬の暮らしの豊かさを探り、その一方で対馬が抱えている課題を見つめます
- 全国から集まる大学生、地元高校生との交流を通じ、自己や地域の未来を描きます

対馬市では、持続可能な暮らしや地域振興など、将来の担い手育成のため、学生等を対象とした合宿形式の「島おこし実践塾-入門編-」を次の通り開催します。

- **開催日程** 平成30年8月20日(月)～8月22日(水) 2泊3日
- **対象** 高校生、大学生、短期大学生、専門学校生、大学院生、社会人等
- **定員** 30名(大学生12名、高校生15名、社会人3名程度)
- **開催地** 対馬市厳原町内山・豆酏・佐須地区
- **内容** 次ページをご覧ください
- **必要経費** 参加費：高校生2,000円(食費)、大学生8,000円(食費・交流会費・保険料)
※社会人参加者は17,000円(宿泊・食費・交流会費・保険料)
交通費：対馬までは参加者負担。対馬島内は無料(バスでの移動となります)
- **宿泊** 民泊(民家へのホームステイ)
- **募集期間** 6月1日(金)～7月27日(金)
- **応募方法** 自己PRや参加希望理由など以下の申込フォームより入力の上、別紙「島おこし実践塾-入門編」参加申込書・同意書に記入し、以下の宛先までご応募下さい。選考の上、受付から2週間以内に参加の可否をご連絡いたします。定員に達し次第、募集を締め切ります。

【申込フォーム】

<https://pro.form-mailer.jp/fms/8f63077398760>



【申込・問い合わせ先】

対馬市島おこし実践塾事務局(一般社団法人 MIT 担当:吉野)
817-1602 長崎県対馬市上県町佐須奈甲 562 番地 24
Tel/Fax:0920-84-2366 E-mail: hajimeyoshino@mit.or.jp

※本年度の実践塾は「入門編」と「専門編」の2つのプログラムに別れています。開催期間や場所、プログラム内容などが異なりますので、ご注意ください。また、両方のプログラムへの参加も歓迎します。

■ プログラム概要

1 日目 8月20日(月)

塾の狙いを理解し、対馬の魅力や現状、課題を把握します。

○オリエンテーション

川口 幹子 主任講師

実践塾の趣旨やプログラム内容の説明を行い、塾で学び取ってもらいたいことや着目してもらいたい視点などを伝えます。

○基礎講義 対馬の魅力と現状・課題

<講師予定>

前田 剛 対馬市しまの力創生課 係長

対馬の概要を学ぶことで、地域社会がおかれる現状や課題に対する理解を深めます。

永野 雄大 環境省対馬自然保護官事務所厳原事務室 自然保護官

「ツシマヤマネコ野生順化ステーション」を拠点に進められているツシマヤマネコ(絶滅危惧ⅠA類)の野生復帰プロジェクトについて学び、地域の経済活動と自然の保護を両立させる地域社会づくりのあり方を考えます。

○グループワーク

大学・学校・学年を超えてグループを編成し、グループ単位で共同作業に臨みます。まず、メンバーのコミュニケーションを促すために、アイスブレイク等簡単なアクティビティを行います。お互いの緊張感をほぐした後、「サポートカンパニー」(民泊の達人など地域の方々の仕事や暮らしを支える支援組織)の企画立案・発表に向け、フィールドワーク等の準備を行います。

○農林漁家民泊体験

対馬の農林漁業者のお宅にホームステイ(分宿)、郷土料理づくりなど、島暮らし体験を行います。また、美味しい夕食を通じて、グループメンバー同士、民泊のお父さん・お母さんと語り合い交流します。



基礎講義の様子 (H29 年度)



グループワークの様子 (H29 年度)



ホームステイの様子 (H29 年度)

2日目 8月21日(火)

各班ごとに民泊の達人の仕事を体験し、「サポートカンパニー」の企画書を作成します。

○島の達人仕事体験

ホームステイでお世話になっているお父さん・お母さんは農林漁業等の達人ばかり。仕事の体験を通じ、暮らしの知恵や技、地域資源の魅力や課題を学びます。

- ・炭焼き
- ・農業(果樹栽培)
- ・農産加工品づくり
- ・狩猟
- ・漁業 等



島の達人仕事体験の様子(イメージ)

○中間発表

民泊や仕事体験を通じて知り得たお父さん・お母さん(達人)のプロファイル(略歴やその人の暮らし方、すごいところや悩み等)をまとめて発表し、塾生同士で共有します。

○講義

「サポートカンパニー」の企画を考えるにあたり、対馬の地域資源を活用して商品開発している起業家の取り組みに学びます。

<講師予定>

須澤佳子 特定非営利活動法人
対馬次世代協議会理事長
内山麻子 Mountain Mountain 代表

○グループワーク

民泊のお父さん・お母さん(達人)へのヒアリングや、グループディスカッションを通じ、サポートカンパニーの骨子や事業内容等をまとめ、企画書を作成します。



講義の様子(左)と達人との交流の様子(右)(H29年度)



達人へのヒアリングの様子(H29年度)

3日目 8月22日(水)

実際に見て聞いて体験したことから新しいアイデアを生み出し、発信します

○グループワーク

昨日仕上げた企画書をブラッシュアップし、発表会に向けたプレゼンテーションの準備を行います。

○発表会

サポートカンパニーの企画書を塾長(市長)や民泊の方々、地域の方々、行政職員等の前で発表します。

○講評

塾長などから講評をもらい、学びを深めます。

○総括講義

川口 幹子 主任講師

「足元にある資源を活かす地域づくり」と題してまとめの講義を行います。体験を通じて学んだことを体系的に整理します。



グループワークの様子(H29年度)



発表の様子(H29年度)

主任講師

◎川口幹子

1979年、青森県青森市生まれ。北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻博士後期課程修了(環境科学博士)。日本学術振興会特別研究員、東北大学大学院生態適応グローバルCOEフェローを経て、2011年6月に総務省地域おこし協力隊(対馬市では島おこし協働隊)として対馬に着任。限界集落である対馬市上県町の志多留地区に一目惚れし、移り住んだ。三人に二人はお年寄りというこの集落では「集落孫」的存在。おじいちゃんおばあちゃんたちに、怒られたり褒められたりしながら、かわいがってもらっている。2013年3月に協力隊同期らと(一社)MITを設立し、任期終了後も対馬に残り、地域と大学との連携による地域づくりや、グリーンツーリズム、環境配慮型農業などに取り組んだ。2018年3月にMITを退職し、同年4月に(一社)対馬里山繋ぎ塾を設立。対馬グリーン・ブルーツーリズム協会の事務局を担いながら、都市部子どもたちへの農林漁業体験合宿「達人道場」など教育・交流事業に取り組む。また、現場での実践経験を踏まえ、長崎新聞客員論説委員を努めるなど、社会に対する問題提起を行う実践派の有識者としての顔も持つ。



対馬市島おこし実践塾(入門編) 参加申込及び同意書

平成30年 月 日

対馬市長 比田勝 尚喜 様

所 属:
氏 名: 印

※未成年者の場合
保護者氏名: 印

私は、平成 30 年度対馬市島おこし実践塾への参加を申し込みます。また、実習を行うにあたり、下記の事項に同意いたします。

記

1. 実習先の諸規則を守り管理・監督の指示に従い、活動に励みます。
2. 実習に際しては、次の事項を厳守します。
 - (1) 実習先の名誉を毀損するような言動を行いません。
 - (2) 実習先の営む事業を阻害するような言動を行いません。
 - (3) 実習上知り得た機密情報は、一切漏洩しません。
 - (4) 実習によって得られたデータや情報、知的財産は実習受入先に提供します。
 - (5) やむを得ない理由により遅刻や欠席する際には、必ず事前に現地指導者に連絡いたします。
3. 故意または過失により対馬市に対し損害をおよぼした時には、ただちに弁償します。
4. 研修中、自己の不注意により万一災害を受けた場合の処理については、対馬市に迷惑をかけることなく自己の責任において処理します。